

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局本部

〈目次〉

〈定例理事会報告〉

I 第 24 回大会収支決算報告

II 第 25 回大会について

III 臼井嘉一理事のご逝去に伴う理事欠員補充と次期理事選挙について

IV 各種委員会報告

V 事務局報告

〈事務局からのお知らせ〉

— 〈定例理事会報告〉 —

[2013 年 11 月 2 日 (土) 14:00~17:00 (於)お茶の水女子大学文教育学部 1 号館第一会議室]

定例理事会が 11 月 2 日 (土) 14 時から 17 時まで、お茶の水女子大学文教育学部 1 号館第一会議室にて開催されました。理事 20 名 (欠席 10 名)、前回大会開催校の瀬戸健会員 (上越教育大学)、次回大会開催校より若槻健会員 (関西大学) および事務局 2 名が参加しました。

I. 第 24 回大会 (上越教育大学) 収支決算報告

瀬戸健会員より、第 24 回大会 (上越教育大学) の収支決算報告がなされた。会計収支簿を回覧した。

日本カリキュラム学会第 24 回 (上越教育大学) 大会収支決算書

(1) 収 入

(単位:円)

科 目	精 算 額	内 訳	備 考
県補助金	262,000	県外参加者 2000 円×131	新潟県交流企画課
市町村補助金	150,000	県外参加者 100 人以上宿泊	上越観光コンベンション協会
その他補助金	650,000		日本カリキュラム学会
参加費	512,500	一般会員：3500×135 人 学生会員：2500×16 人	
雑収入	3,000		発表要旨集録売り上げ
	45		郵貯銀行解約払い戻し金
計	1,577,545		

(2) 支 出 (単位:円)

科 目	精 算 額	内 訳	備 考
会場借上料	48,000		上越教育大学施設使用料
印刷製本費	386,400	大会プログラム: 88,200 発表要旨集録: 298,200	大会プログラム・発表要旨集録印刷
通信費	137,915	郵送料: 108,619 住所ラベル: 12,256 封筒: 17,040	郵送料・住所ラベル印刷 ・封筒
旅費	132,000	シンポジスト3名分	旅費・宿泊費
輸送費	210,840	臨時シャトルバス8便	バス借り上げ
運営諸費	164,672		看板、名札、紙袋、コピー等
事務局員費	496,680	受付 67,200 要項発送 14,400 袋詰め 7,000 運営補助 388,080 緊急車両 20,000	事務局アルバイト賃金 (袋詰め、受付、運営補助等)
雑費	1,038		忘れ物、要旨集録郵送等
計	1,577,545		

(3) 収 支 (単位:円)

総収入金額	1,577,545
総支出金額	1,577,545
差し引き残額	0

上記のとおり、収支決算をご報告いたします。

平成 25 年 9 月 30 日 日本カリキュラム学会第 24 回(上越教育大学)大会
会計担当 松井千鶴子

II. 第 25 回大会について

次回大会開催校の関西大学の安藤理事より、日程について説明があった。開催日は 2014 年 6 月 28 日(土)～29 日(日)で 27 日(金)に理事会を開催し、28 日と 29 日は例年通り課題研究・公開シンポジウム・自由研究発表を実施する計画が承認された。引き続き検討を続け、3 月の理事会で詳細を決定する。

III 臼井嘉一理事のご逝去に伴う理事欠員補充と次期理事選挙について

臼井理事のご逝去に伴い、選挙による理事に欠員が生じたが、「残任期間が過少なため、欠員

を補充しない」ことが、理事会で決定された。

次期理事選挙（2014年4月実施予定）について、代表理事選挙の手続きが提案された。『日本カリキュラム学会役員選出規程』第5条にもとづき、選挙管理委員3名（関根明伸会員、丸山剛史会員、遠座知恵会員）を指名した。選挙管理委員会は、理事選挙及び代表理事選挙の2つの選挙管理事務を扱う。あわせて、「日本カリキュラム学会 代表理事選挙に関する申し合わせ」（2011年3月5日理事会）を確認した。

IV. 各種委員会報告

（1）研究委員会（天笠茂理事）

研究委員会主催の研究集会の計画（開催予定：2014年3月21日（金・祝）、京都大学）について報告された。内容は若手研究者の発表と先進的取り組みを行っている実践校の発表を予定している（6ページ参照のこと）。第25回大会で研究委員会が担当する3つの課題研究の案が示され、シンポジウムとの関連について意見交換がなされた。大会で発表された課題研究の成果を別途出版する方途について、議論を進めていることが報告された。

（2）国際交流委員会（磯田文雄委員長）

『カリキュラム研究』第23号掲載の「海外カリキュラム研究情報」の原稿をイギリスの Goodson, I. 教授に依頼し、池野範夫理事翻訳で掲載することが報告された。次回大会の国際交流委員会担当の課題研究について意見交換がなされた。

（3）広報委員会（工藤文三委員長）

2013年12月25日（水）開催の「大阪府教育センター研究フォーラム」に広報委員会として協力する旨、報告がなされた。

（4）紀要編集委員会（子安潤理事）

『カリキュラム研究』第23号の投稿論文（14件）の査読を進める旨の報告があった。同時に図書紹介の推薦を呼びかけた（11月末締切、事務局本部宛）。

なお、『カリキュラム研究』第21号の「課題研究1」の記載についてなされた議論の報告は下記の通りである。

1. 2012年7月6日（金）と11月3日（土）の理事会において出された質問と検討課題は、次のことであった。

①小泉理事から課題研究の執筆内容について、1）課題研究1の執筆内容とは異なる故人の哀悼の文章が掲載されたこと、2）原稿には余白があり、そのスペースと哀悼の文章を削除したスペースを使って課題研究の内容を報告すべきである。このことに関して、カリキュラム学会機関

誌の紀要編集委員長の見解はどのようなものであるかという質問がなされた。

②再度上記の問題が常任理事会で審議され、代表理事から紀要編集委員会においてこの問題を審議するように委託された。

2. 検討経緯と方向

紀要編集委員会は、今回の問題について、1) 事実確認、2) 編集員会の編集の範囲と権限の確認、そして3) 検討の方向と回答の作成、の3つの観点から検討した。

3. 結論

一般的には、誹謗中傷など倫理的問題が含まれている依頼原稿に対しては内容の変更を求めることがあるが、その他の記事内容については、編集委員会の裁量に任される。今回の検討課題については、記事に対しては、上述したように報告内容と密接な関連がない一文が含まれている。この点に関して編集と執筆における常識上の問題が残る。

(5) 研究奨励賞審査委員会報告（水原克敏代表理事）

2013年12月末日までに事務局本部宛、該当者が無い場合でも必ず連絡するよう、全理事に推薦依頼があった。

(6) カリキュラム事典検討委員会（磯田文雄理事）

新カリキュラム事典の刊行について、事典刊行の是非、刊行する場合の形態、必要な組織体制について中間報告がなされた。関連学会の動向、事典の性格を含め、意見交換を行った。論点整理を経て、2014年3月の理事会に答申を提出する見込みとなった。

V. 事務局報告

(1) 会員現況報告

■会員現況概要（2013年10月31日時点）

会員総数 727 名（一般会員 631 名、学生会員 87 名、団体会員 9 件）

※連絡先不明者 4 名、会員一時資格停止者 42 名を含む。

■新規入会会員（2013年4月1日～10月31日）35名

	入会月日	氏名	所属	区分	推薦者
1	2013/4/1	坂本 徳雄	国士館大学大学院	学生	臼井嘉一
2	2013/4/11	足立 淳	新潟医療福祉大学	一般	豊田ひさき
3	2013/4/17	久田 晴生	大同大学	一般	事務局
4	2013/4/18	奥村 好美	京都大学大学院教育学研究科	学生	事務局
5	2013/4/18	竹村 直記	東京学芸大学	学生	浅沼茂
6	2013/4/19	羽山 裕子	京都大学 教育学研究科	学生	事務局
7	2013/4/25	青山 之典	比治山大学	一般	事務局
8	2013/4/25	井場 麻美	東北大学大学院	学生	浅沼茂

9	2013/4/26	川上 知子	佐賀市城南中学校	一般	倉本哲男
10	2013/5/7	赤沢 真世	立命館大学	一般	赤沢早人
11	2013/5/9	山東 功	大阪府立大学 21世紀科学研究機構	一般	事務局
12	2013/5/9	秋永 能宏	上越教育大学	学生	事務局
13	2013/5/10	山口 夕貴	東京学芸大学大学院	学生	浅沼茂
14	2013/5/10	呉地 初美	早稲田大学大学院教育学研究科	学生	水原克敏
15	2013/5/13	石原 陽子	プール学院大学	一般	事務局
16	2013/5/13	曾我 悦子	学校法人 西南女学院本部	学生	八尾坂修
17	2013/5/14	岡崎 裕	プール学院大学	一般	事務局
18	2013/5/14	後藤 顕一	文部科学省	一般	事務局
19	2013/5/17	山崎 明宏	プール学院大学	一般	事務局
20	2013/5/17	田中 伸	大阪大谷大学	一般	事務局
21	2013/5/18	今村 聡子	文部科学省	一般	西野真由美
22	2013/6/10	白水 始	文部科学省	一般	西野真由美
23	2013/6/11	米山あかね	(株)日本サイバー教育研究所/サイバー大学	一般	野木森三和子
24	2013/6/14	中島 淑子	名古屋大学大学院	学生	事務局
25	2013/6/22	豊田 英敏	早稲田大学大学院教育学研究科	学生	水原克敏
26	2013/6/26	遠藤 好子	新潟県上越市立雄志中学校	一般	時得紀子
27	2013/6/27	橋戸 雅夫	聖徳大学 教職大学院 教職研究科	一般	事務局
28	2013/7/9	今関 豊一	国立教育政策研究所	一般	事務局
29	2013/9/2	崔 英姫	東京大学大学院教育学研究科	学生	事務局
30	2013/9/2	大滝 一登	ノートルダム清心女子大学	一般	事務局
31	2013/9/19	鬼木 勝	横浜市立美しが丘中学校	一般	事務局
32	2013/9/20	小川 正人	環太平洋大学	一般	草原和博
33	2013/9/25	小林 祐也	関西大学大学院文学研究科	学生	事務局
34	2013/9/27	野口 聡	関西大学大学院	学生	事務局
35	2013/10/7	小柳 正司	鹿児島大学	一般	廣瀬真琴

■退会者（2013年3月31日～10月28日）28名

	退会日	氏名	所属	区分
1	2013/3/31	今井 重孝	青山学院大学文学部教育学科	一般
2	2013/3/31	大庭 茂美	九州女子大学 教職課程	一般
3	2013/3/31	今野 喜清	帝京科学大学生命環境学部	一般
4	2013/3/31	柴田 秀夫	岡崎市立羽根小学校	一般
5	2013/3/31	中島 勝義	大阪市立興文小学校	一般

6	2013/3/31	北鹿渡 庸子		一般
7	2013/3/31	鶴田 敦子	聖心女子大学 教育学部	一般
8	2013/3/31	武藤 孝典	信州大学名誉教授	一般
9	2013/3/31	長岡 弘晴	東北大学教育学研究科博士課程前期 朴沢学園明成高等学校	一般
10	2013/3/31	黒川 統夫	坂出市立東部中学校	一般
11	2013/3/31	長田 真美	北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校	一般
12	2013/3/31	呉 吟	奈良女子大学	一般
13	2013/3/31	Greg Jember	佐賀大学文化教育学部	一般
14	2013/4/1	辰巳 哲子	(株)リクルートワークス研究所キャリア教育チーム	一般
15	2013/4/2	大友 秀明	埼玉大学教育学部	一般
16	2013/4/3	後藤 正矢	西東京市立 碧山小学校	一般
17	2013/4/8	勅使 千鶴	日本福祉大学	一般
18	2013/4/23	佐野 享子	筑波大学	一般
19	2013/4/25	荻須 鍾子	ひまわり幼稚園	一般
20	2013/5/1	岡部 一夫	福岡市立金武小学校	一般
21	2013/5/7	岩崎 由紀夫	大阪教育大学	一般
22	2013/5/13	阿部 敬信	別府大学 短期大学部	一般
23	2013/6/12	伊野 雅行	宮城県富谷町立東向陽台小学校	一般
24	2013/6/24	松原 美砂	富山県立雄峰高等学校	一般
25	2013/6/27	梅原 利夫	和光大学人間関係学部	一般
26	2013/7/3	宮崎 州弘	東京福祉大学	一般
27	2013/7/4	小椋 知子	コミュニティ・カウンセリング・センター	一般
28	2013/10/5	臼井 嘉一	国士舘大学文学部	一般

(2) 学会ホームページ改定について

学会事務の業務委託を行っている国際文献社よりホームページ作成・管理運営の担当者2名が来場し、配付資料及びスクリーンでのデモンストレーションにもとづき、ホームページの改定案ならびにトップページの構成案について説明がなされた。2014年春に改定予定である。諸要望を含め、意見交換がなされた。

—— 〈 研究委員会からのお知らせ (一次案内) 〉 ——

下記の通り、第5回研究集会を開催いたします。ふるってご参加ください。

なお、当日は公開にて研究会を開催します。ご関心のある方々にもお声をお願い致します。

日時：2014年3月21日（金）13:30－16:30

場所：京都大学・吉田キャンパス・文学部新館第1講義室

（※URLの地図5番と8番の間にある建物の1階です。

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm）

参加費：無料

発表内容：

■徳永俊太先生（岐阜経済大学・専任講師）

「イタリアの歴史教育研究は何を問題にしてきたのか」

イタリアにおける歴史教育研究は、社会の動向に合わせてその姿を変えてきました。最初期の研究である1970年代のものは、労働運動やテロリズムによる社会不安を打破しようとする研究でした。本発表では、それ以降の各時代にどのようなことが課題とされ、どのような実践が紡がれてきたのかを社会の動向と照らし合わせながら明らかにしていきます。その際に、多数の教師や研究者による共同研究にも焦点を当てていきます。

■盛永俊弘先生（長岡京市立長岡中学校・校長）

「中学校で考える学力向上の視点」

文部科学省は「全国学力テスト」について、市区町村教委による学校別結果の公表を来年度から“解禁”しました。そうした状況下で、中学校の現場では、「学力向上」をどのように考えたらいいのでしょうか？——①国立教育政策研究所で「全国学力テスト」の分析に関わったことから考えたこと、②中学校の学力格差の背景と実態、③授業づくりを根幹においた学校づくりの実践（マネジメント）などを中心に報告したいと思います。

参考資料：旺文社パスナビ「風を起こす学校」

<http://koukou.passnavi.com/index.php/blog/wind/56-morinaga>

（5年間の校長職のうちの1年半の実践内容が紹介されています）

— 〈 事務局からのお知らせ 〉 —

(1) 寄贈図書一覧 (2013年8月31日～2013年12月31日 事務局到着分)

	書名	著者	出版社	奥付日付
1	デモクラティックスクール	澤田稔	ぎょうせい	2013/10/15
2	書くことの教育における理論知と実践知の統合	清道亜都子	溪水社	2013/10/25

(2) 平成25年度 (2013年度) 分会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納の方は、納入をお願いします。10月31日時点での**2013年度会費の納入率は76.6%、2012年度会費の納入率は96.1%**です。納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願ひ申し上げます。次年度は理事選挙が行われます。2014年3月末日の年会費納入状況にもとづき4月に実施されます次期理事選挙の有権者名簿が確定します。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、些細な点でも結構ですので、ご遠慮無く(株)国際文献社内・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。よろしくお願ひ致します。(年会費：一般 8,000円、学生 5,000円、団体 10,000円)

【 入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先 】

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

日本カリキュラム学会 会員窓口

Tel:03-5389-6213 Fax : 03-3368-2822

E-mail:jscs-post@bunken.co.jp

【 上記以外の学会運営に関する問い合わせ先 】

〒112-8610

東京都文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学 文教育学部 人間社会科学科

日本カリキュラム学会事務局本部 富士原紀絵

E-mail:jscs@nifty.com

【 学会ホームページ 】

URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>